

「施設間の連携に強い看護師養成プログラム」

京都府看護人材交流支援事業 相互交流報告会

2017. **6.16** 金
10:00~16:00 (受付開始9:30~)

会 場

キャンパスプラザ京都 第1講義室
(京都駅より徒歩5分)

第1部 事業説明・基調講演 10:00~

『中堅看護師のキャリア形成支援』

岩手医科大学 看護学部 特任教授 **秋山 智弥** 先生
(京都大学医学部附属病院 前看護部長 前看護職キャリアパス支援センター長)

第2部 事業報告会 13:00~

『相互交流報告会』

・京丹後市立弥栄病院 ・市立福知山市民病院
・綾部市立病院 ・あそかビハーラ病院
・京都大学医学部附属病院

参加費
無料

平成30年度の参加施設を募集しています

※本事業は京都府からの財政支援(看護職キャリア支援事業)を受けて実施しています

主催



京都大学医学部附属病院
看護職キャリアパス支援センター

Tel.075-751-3746
nrcareer@kuhp.kyoto-u.ac.jp



京都大学医学部附属病院
看護職キャリアパス支援センター 宛
075-751-3746 ※送信状は不要です



京都府看護人材交流支援事業 相互交流報告会

会場：キャンパスプラザ京都 5階 第1講義室

第1部	10:00～	10:00～	看護職キャリアパス支援センター長挨拶
	10:15～	事業説明	看護職キャリアパス支援センター職員
	10:30～	基調講演	中堅看護師のキャリア形成支援 岩手医科大学看護学部 特任教授 秋山智弥 先生

本事業を立ち上げられた、京都大学医学部附属病院前看護部長・前看護職キャリアパス支援センター長で現岩手医科大学看護学部特任教授である秋山智弥氏に講演をいただきます。

《講演内容》病院完結型の医療から地域完結型の医療へ、看護職には、施設を越え、医療機能の垣根を越えて、継続看護という名のバトンを繋いでゆく役割がますます求められています。京大病院では「他流試合で勝負できてこそ真のプロ」という認識のもと、スペシャリストたる前にジェネラリストとして足腰を鍛えるための現任教育モデルを構築し、その一環として、“連携に強い看護職を育成するための相互人材交流支援事業”を実施してきました。機能の異なる複数の領域での看護の経験が、中堅看護師らの看護観を醸成し、技(わざ)から態(わざ)へ、資質を磨く一助ともなっています。是非その生の声をお聞きください。

第2部	13:00～	13:00～	事業参加施設紹介
	13:10～	参加施設発表	綾部市立病院、福知山市民病院、京丹後市立弥栄病院、あそかピハーク病院、京都大学医学部附属病院
	14:50～	看護部長ディスカッション	
	15:50～	参加申し込み受付	
	16:00～	終了	

以下をご記入の上、こちらの用紙をFAXでお送りください

所属施設名			
申込者氏名 (代表者)		希望参加人数	名
住 所	〒		
TEL		FAX	